

ドームを「着る」未来の暮らし

ヒトは自然環境の中で、衣服・住居・集落・都市という「他との境界」を“着る”ことでより安全で豊かな暮らしを手に入れてきた。

次にヒトが創造する境界 — フューチャードームは、どんな快適をもたらすのか？



「Tsukuba Future Dome」とは

シンポジウムオーガナイザー

野口 良造

筑波大学生命環境系准教授



超小型フューチャードームとしての宇宙船

中野屋 壮吾

JAXA 有人宇宙技術センター 技術領域主幹



フューチャードームの 都市デザインとプレイスメイキング

渡 和由

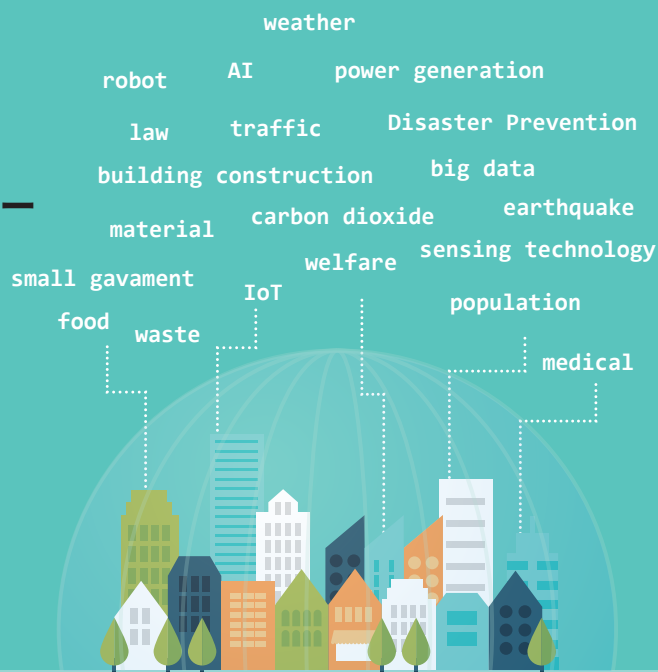
筑波大学芸術系准教授



フューチャードームのパーマカルチャー

二宮 正士

東京大学大学院農学生命科学研究科
附属生態調和農学機構・副機構長



2017. **3.8** Wed.
18:00-20:00 (開場 17:30)

つくば国際会議場405会議室

参加費 **¥500** (軽食・飲み物代として)

先着30名・要事前申込

©申し込み・詳細(筑波大学研究情報ポータルCOTRE)

<http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/10557>



Tsukuba Future Dome Symposium

Future Domeは地球上のどこにでも、そして地球外にも快適な生活環境を実現するための提案です。新しい境界を設け新しいフレームでの暮らしを創造することは、多様な科学・技術・人文・社会科学の結集によってのみ実現可能なプロジェクトであると考えます。筑波研究学園都市開議了解から50余年。多彩な分野の研究者が集うこのつくばの地で、Tsukuba Future Dome Symposiumは全7回のシリーズにおいて、キーパーソンとなる研究者を迎え「科学の街つくば」から誕生する「未来都市つくば」を発信していきます。